

## 【教科名】 技術家庭

### (1) 目指すもの

#### 中学

- ① 実習と実技を通じて各分野の内容を習得する。
- ② 道具の目的・仕組みを知り、理解して正しく使うことができる。また、安全に心がけ丁寧に扱える。
- ③ 技術作品の製作では、自分の設計に基づき、作品を精度よく仕上げることができる。
- ④ 被服製作では、自分の使うものを丈夫に、丁寧に工夫して作成する。
- ⑤ 幼児の発達を学び、幼児のための絵本の製作をすることにより幼児への理解を深める。
- ⑥ コンピュータの使い方の基礎を学び、利用する。
- ⑦ 6群法、栄養素のはたらきを知る。
- ⑧ 安全、食品衛生に気をつけて調理をする。
- ⑨ 授業で市販の購入可能な加工食品や食材を作ってみることで、食品の表示や製造過程、作り方に興味を持つ。
- ⑩ 衣服の手入れの仕方を知り、日常の洗濯、手入れに興味関心を持つ。

#### 高校

高校では、人の一生と家族や家庭生活のあり方、乳幼児と高齢者の生活と福祉、食生活、住生活、消費生活などに関する基礎的な知識と技術を習得させ、男女が協力して家庭生活の充実向上を図る能力と実践的な態度を育てる。

### (2) 授業の進め方

#### 中学

- ①知識の定着と共に、実習、実験、製作、体験、レポート作成などを通じて総合的に学べるようにする。
- ②基本を中心に繰り返しの練習を行わせながら技術の習得を行い、生徒が実習、作業に自信を持って取り組めるようにする。
- ③機器の仕組み、道具の仕組みなどについても実験実習を多く取り入れて指導する。

#### 高校

- ①家族・家庭、高齢者や幼児の生活と福祉では、課題学習を通してより学べるようにする。
- ②授業での調理実習に加え、家庭での基礎練習や調理実習の復習課題を通して、より技能の定着を図っている。
- ③消費生活、家族法、契約など社会人として生活していく上で必要な知識など学び授業を展開する。

### (3) 使用教材について

#### 中学

教科書「新・技術家庭 技術分野・家庭分野」(教育図書)

#### 高校

教科書「家庭基礎」(教育図書)

資料集「生活ハンドブック」(第一学習社)

## 【教科名】 技術家庭

最終 到達目標			① 生活に必要な基礎知識と技術の習得を通して、生活と技術の関わりについて理解を深める。 ② 自ら生活を工夫し、創造する能力と実践的な態度を身につける。 ③ 一人の生活者として様々な場面で技術や知識を適切に活用する力を身につける。		
ST	学年	コース	授業目標	授業ポイント	使用教材
第1ステージ	中学1年		生産技術に関する基本的な知識、および技能を習得させること エネルギー変換と生活への活用方法	基礎的な構造・組み立て ものづくりの技術の原理やしぐみ	「新・技術家庭技術分野」 (教育図書)
	中学2年		当たり前を感じている生活や生活の中の技術、役割などに焦点を当て、興味関心の幅を広げていくことを目指す。各分野の内容を知識の理解と定着をより図るため体験、実習、レポートづくりなどを通して学んでいく。	衣服の役割、手入れ、製作 栄養、食品衛生、調理の技術、調理実習 情報	「新・技術家庭技術分野 家庭分野」 (教育図書)
第2ステージ	中学3年		2年時で学んだ内容を踏まえ、様々な分野により興味関心が持てるように知識と体験、実習、レポート作成などの作業の両面から深めていく。	被服 住まい 保育 食生活 情報	「新・技術家庭技術分野 家庭分野」 (教育図書)
	高校1年		配置なし		
第3ステージ	高校2年	理	人の一生と家族や家庭生活のあり方、乳幼児と高齢者の生活と福祉、食生活、消費生活などに関する基礎的な知識と技術の習得をめざし、男女が協力して家庭生活の充実向上を図る能力と実践的な態度を育てる。	家族、ライフコース 高齢社会 保育 ボランティア 労働法 消費生活 家計 食生活 住生活	教科書「家庭基礎—ともに生きる明日をつくる」(教育図書) 資料集「生活ハンドブック」(第一学習社)
		文			
	推薦				
高校3年		理	配置なし		
		文	配置なし		
		推薦	家庭基礎で学んだ内容をさらに深く学習する。調理実習、社会保障や社会福祉、ボランティア、被服実習を行う。	食の安全 調理実習 社会保障と福祉 ボランティア 被服実習 住生活	教科書「家庭基礎—ともに生きるくらしをつくる」(教育図書) 資料集「アクセス 生活ガイド」

【学年】 中学 1 年 【教科名】 技術・家庭 科 【科目名】 技術 【単位数】 2 時間

年間指導目標	①製図の方法を理解し、立体を正確に作図する技能と空間的な思考力を培う。 ②材料の性質とそれに適した加工法を理解し、材料を正確に加工する技能を培う。 ④ 電気機器を安全に使用するために注意すべきことを理解する。 ⑤ 電気工作の基本的技能を習得する。
--------	--

学期	時期	使用教材	単元 (章)	学習内容
1 学 期	中 間	製図用具 (三角定規、コンパス) 斜方眼紙	材料と加工に関する技術	等角図のかき方 キャビネット図のかき方
	期 末	製図用具 (三角定規、コンパス) 斜方眼紙 木工具 (のこぎり、やすり等) 角材 ペンケースキット		等角図のかき方 キャビネット図のかき方 金属、プラスチックの特性 木工具の使い方のこぎり・さし金・げんのう・釘
2 学 期	中 間	カブの種 栽培用のプランター	生物育成に関する技術	食糧生産に関する知識 野菜の生育条件 野菜の栽培方法 土壌と栽培
		木工具 (のこぎり、やすり等) 角材 ペンケースキット	材料と加工に関する技術	木工具の正しい使い方 角材サイコロの製作 木工作品の製作
	期 末	木工具 (のこぎり、やすり等) 塗料	材料と加工に関する技術	木工作品の製作
		ペンケースキット 電気実験器具 (豆電球、テスタ、電池等)	エネルギー変換に関する技術	電気の基礎的な知識 一次エネルギーと二次エネルギー 再生可能エネルギー
3 学 期	学 年 末	電気工具 (ラジオペンチ、ニッパー はんだごて、ドライバー等) テーブルタップキット	エネルギー変換に関する技術	電気機器の安全な使い方 電気エネルギーの利用
		「新技術・家庭 技術分野」 (教育図書)	情報に関する技術	世の中にあるプログラム 情報のデジタル化 アナログとデジタル

年間指導目標	① 授業用のエプロン等の製作を通じて被服実習の基礎を学ぶとともに、自分が使う品を丁寧に丈夫に、責任を持って作る。 ② 調理実習を通じて調理基本や技術の習得を目指す。 ③ 安全、衛生などについて意識を向ける。 ④ コンピュータの基礎を学び、他教科などでも生かせるようにする。 ⑤ 栄養に関する基礎知識を身につける。 ⑥ 衣服の手入れの実際に興味を持つ。
--------	--

学期	時期	使用教材	単元 (章)	学習内容
1 学期	中間期末	「新・技術家庭 技術分野 家庭分野」 (教育図書)	衣生活 情報 食生活	エプロンの製作 6 群法 調理実習、実習室の使い方、片づけ
2 学期	中間期末	「新・技術家庭 技術分野 家庭分野」 (教育図書)	衣生活  消費生活 食生活  情報	聖書カバー製作 聖書袋製作 衣服の手入れ Y シャツのアイロン、たたみ方、まつり縫い、ボタン付け 消費者としての自覚 調理実習、安全・道具の使い方、食品衛生 6 群法
3 学期	学年末	「新・技術家庭 技術分野 家庭分野」 (教育図書)	食生活 情報 衣生活	栄養素の働き タートルズ 刺し子のコースター製作 衣服のはたらき、着方 衣服の選択、布の性質 衣服の手入れ 取扱絵表示調べ ブラッシング、洗剤の種類、洗濯の仕方 洗濯レポート ボタンの付け方、まつり縫い実習テスト Y シャツのアイロンかけたたたみ方実習テスト

年間 指導 目標	<p>① 体育祭で使う「はっぴ」の製作を通じて、服の成り立ちに関心を持つ。また技術の習得にとどまらず、被服実習への苦手意識からの脱却とともに粘り強さ、達成感を持たせる。</p> <p>② 調理に取り組むとともに、自分の日常の食事に関心を持つ</p> <p>③ 環境を意識した消費者としての意識を育む。</p> <p>④ 自分の生活している住環境への関心を育む。</p> <p>⑤ 幼児のための「絵本」の製作を通じて、自分が見守られて育てられてきた成長過程を振り返るとともに、幼児に対しての知識や理解を深め、親しみと温かい思いを育む。</p> <p>⑥ コンピュータを利用して、「旬」調べなどで活用しまとめる。それぞれが選んだ「ビタミン・ミネラル」の特徴を作品として仕上げ、発表する。</p>
----------------	---

学期	時期	使用教材	単元（章）	学習内容
1学期	中間期末	「新・技術家庭 家庭分野」 (教育図書)	衣生活 食生活	はっぴの製作、 調理実習
2学期	中間期末	「新・技術家庭 技術分野 家庭分野」 (教育図書)	乳幼児の成長と生活  食生活  環境	乳幼児の成長と生活 絵本レポート 幼児のための絵本製作とレポート作成 食品の選択、生鮮食品と加工食品 調理実習(加工食品実習を含む)、調理レポート 消費生活と環境
3学期	学年末	「新・技術家庭 技術分野 家庭分野」 (教育図書)	食生活  情報  住まい	食品の選択、生鮮食品と加工食品、食品の 保存 調理実習実験(噛む、糖度調べ)、 日常食の見直し コンピュータの利用、旬調べ、栄養計算、 ビタミンミネラル作品 住まいの安全、住環境

【学年】 高校 2 年 【教科名】 家庭 【科目名】 家庭基礎 【単位数】 2 時間

年間指導目標	人の一生と家族のあり方、乳幼児と高齢者の生活と福祉、食生活、衣生活、消費生活などに関する基礎的な知識と技術を習得させ、ひとり立ちをめざして、その能力と実践的な態度を育てる。
--------	--

学期	時期	使用教材	単元 (章)	学習内容
1 学期	中間期末	教科書「家庭基礎—と もに生きるくらしをつ くる」(教育図書) 資料集「生活 Navi」(実 教出版)	1 家庭とライフコ ース 2 高齢社会 3 食生活 4 体験ボランティア	1 ライフステージ、家族法 2 高齢者の心身の特徴、介護制度 3 調理実習、食品衛生、包丁検定、生姜焼き 定食 家で作る課題 4 体験ボランティアの注意 夏休みの課題は体験ボランティア
2 学期	中間期末	教科書 資料集 1 学期と同じ	3 食生活 5 働くこと 6 消費生活 7 保育	3 栄養と食品、調理実習、4 群点数法、食の 改善 (お弁当の作り方) 5 労働法 6 契約、消費者法 7 乳幼児の発達と特徴
3 学期	学年末	教科書 資料集 1 学期と同じ	8 住生活 9 家計	8 家探しと間取り 9 家計、クレジットの仕組み、多重債務

【学年】 高校3年 【教科名】 家庭 【科目名】 家庭 【単位数】 2 時間

年間 指導 目標	家庭基礎で学んだ内容をさらに深く学習する。被服実習、調理実習、社会保障と社会福祉、ボランティア、住居を学ぶ。
----------------	--

学期	時期	使用教材	単元（章）	学習内容
1 学 期	中 間	教科書「新家庭基礎— ともに生きるくらし をつくる」(教育図書) 資料集「生活ハンドブ ック」(第一学習社)	衣生活 被服実習	<ul style="list-style-type: none"> <li>カーゴパンツの製作を通して被服実習の基本的な知識と技術を習得する。</li> </ul>
	期 末		被服実習つづき 食品衛生 ボランティアについて	<ul style="list-style-type: none"> <li>身の回りの作品を製作する。</li> <li>食品衛生</li> <li>ボランティアをする時に注意することを理解する。</li> <li>夏期休暇の課題：体験ボランティア</li> </ul>
2 学 期	中 間 期 末		食生活 献立作成など 調理実習 住生活	<ul style="list-style-type: none"> <li>栄養</li> <li>食事摂取基準と献立作成など。</li> <li>家庭基礎の内容を基本としてより高度な調理実習を行う。</li> </ul>
3 学 期		授業なし		